



知っていますか？



病児・病後児保育

～使って便利！病児・病後児保育～

(幼児教育・保育の無償化対象事業)

病児・病後児保育って何？

※1 かぜなどの日常かかりやすい病気になった場合、お父さんやお母さんのお仕事などの都合により、家庭で保育を行うことがむずかしい方が利用することができます。

病児保育 病気の回復期ではないものの症状が安定している子どもが利用できます。

病後児保育 病気の回復期にある子どもが利用できます。

※1 かぜなどの感染症疾患・ぜんそくなどの慢性疾患・骨折などの外傷性疾患など各施設により受け入れ可能な症状が異なります。

どうやって利用するの？

事前登録

自治体または各施設で利用登録



医療機関受診

医療機関を受診し、医師に病児・病後児保育の利用を相談

利用予約

利用希望施設に直接電話などで予約



施設利用

着替え・薬など必要なものを準備



いつから利用できるの？

各施設によって異なりますが、**生後6か月から小学校6年生まで**利用することができます。事前に利用施設にお問い合わせください。



お金はいくらかかるの？

各施設1日当たり1,000円～2,000円程度でご利用いただけます。時間帯などによって給食費などの別途費用がかかります。



3歳児ですが無償化の対象になりますか？

各年4月1日の年齢が3歳から小学校入学まで「幼児教育・保育の無償化」^{※2}の対象となります。上限額は、月額37,000円です。**ただし、認可保育所などで無償化になっている場合は対象となりません。**^{※3}

※2 無償化で利用する場合は、お住いの自治体から認定を受ける必要があります。

※3 市町村民税非課税世帯は、0歳～2歳月額42,000円の利用ができます。

※4 「認可保育所など」とは、認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所、家庭的保育事業所を言います。

病児・病後児保育施設の広域利用ができるようになりました！

これまで、病児・病後児保育事業は、病児・病後児保育施設のある自治体にお住まいの方以外は利用がむずかしい状況でしたが、令和3年4月から山形連携中枢都市圏の連携事業となり、7市7町で広域的な利用ができるようになりました。^{※5}

広域利用ができる自治体

■山形市 ■上山市 ■天童市 ■寒河江市 ■村山市 ■東根市 ■尾花沢市
■山辺町 ■中山町 ■河北町 ■西川町 ■朝日町 ■大江町 ■大石田町

※5 山形連携中枢都市圏は、人口減少・少子高齢社会にあっても、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点の形成を目指すことを目的に、大中規模自治体での広域的連携の推進や政策面での連携等に取り組んでいきます。

広域利用の目的

目的1 お近くの自治体にある施設を利用できることで、お仕事をしながらも安心して子育てできる環境を整備します。



目的2 7市7町の圏域内の交流人口を活発化させることで社会経済の活性化を図ります。

	種 類	施 設 名
山形市	病児／病後児	ひなたぼっこ（山形市立病院済生館内）
	病 児	おひさまルーム（山形済生病院内）
	病後児	さくら保育園
	病後児	スターキッズ（はやぶさ保育園内）
	病後児	キンダーこども園
	病後児	キンダー南館こども園
上山市	病児／病後児	ぼかぼか（介護老人保健施設みゆきの丘西棟内）
天童市	病児／病後児	にじいろ（TFキッズ保育園天童内）
	病児／病後児	つぐみ（be'be' クレッシュ・つぐみ内）
	病後児	きらきら（市健康センター内）
	病後児	キンダー水木こども園
寒河江市	病 児	ゆうきの森（鬼海小児科内）
	病後児	げんきの森（市立なか保育所内）
	病後児	あいはーと（さがえさくらんぼ子供園内）
村山市	病 児	ベテスダ・キッズ（羽根田医院隣ベテスダの家）
東根市	病後児	さんさん（ソーレケアヴィレッジ東根内）
尾花沢市	病児／病後児	なないろ（旧尾花沢幼稚園）
河北町	病後児	すくすく（かほくあい子育てセンター内）
	病後児	のびのび（ひなの子育てセンター内）

申込方法や利用料などの詳しい情報は、各自治体または施設ホームページをご覧ください。

山形市ホームページ『[なんたっすやまがた](#)』を[ご覧いただく](#)と各施設の概要を確認することができます。

詳しくは[こちら](#)から ➡

